



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

嶺北地域アクションプランの進捗状況等（第3四半期）

嶺 北 地 域 本 部

平成31年2月8日（金）

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 3 1 . 2 . 8

嶺北地域本部

1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域アクションプラン（24項目）については、嶺北4町村において相互に関連する取組や、4町村全てに関わる取組が多いことから、常に連携を図りつつ、各町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取組とベクトルを合わせながら推進している。

また、地域アクションプランの取組と連携させた畜産と林業の2つの地域産業クラスターの形成を、地域への波及効果を生み出すべく進めている。

農業分野では、3町のJA出資法人等が中山間農業複合経営拠点として、昨年度に策定（一法人は策定中）した事業戦略に基づく取組を進めている。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭が順調に進んでいるほか、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図っている。また、整備された HACCP 対応の食鳥処理・加工施設が稼働したことで、土佐はちきん地鶏の生産から加工・販売までの一貫体制が整いつつあり、これを生かした首都圏等での営業活動を強化して取り組んでいる。

林業分野では、さらなる原木増産に向けて地域内での連携した取組や森林組合への支援に取り組んでいる。また、集落活動センター西峯におけるスギのコンテナ苗は、今年度から規模を拡大し3～5月の出荷に向けて栽培が進められている。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点の施設整備が本格化するとともに新さめうら荘が竣工し、12月25日からプレオープンを実施したほか、山岳観光プログラムの磨き上げなどが進んでいる。また、関西圏などからの教育旅行客が飛躍的に増え、さらなる広域での民泊受入体制の強化を進めている。さらに、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりによる嶺北高校の魅力向上も含めた地域の活性化や合宿誘致、また、集落活動センターと自然体験型観光の連携に向けた拠点施設の改修など交流人口の拡大につながる環境整備に取り組んでいる。あわせて、7月から開催する「アウトドア」「生活文化」「食」をテーマとした地域博覧会「土佐れいほく博」の準備も着実に進めている。

そのほか、新たにアクションプランとして追加した地元産の酒米にこだわった日本酒の国内外への販路拡大に向け、蔵元の新工場の建設や地元酒米農家の確保に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人 ((株) れいほく未来) を核とする地域活性化の取組 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) れいほく未来 ・ JA 土佐 れいほく <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修による新規就農者数 (雇用者数含む) <ul style="list-style-type: none"> H24~27 実績 (累計) : 8 人 → H29 目標: 3 人 (実績: 2 人) → H30 目標: 3 人 → H31 目標: 12 人 (H28~31 累計) ○農業経営事業 (園芸) 売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績: 23,670 千円 → H29 目標: 37,300 千円 (実績: 27,745 千円) → H30 目標: 40,000 千円 → H31 目標: 50,000 千円 ○米粉等の販売額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績: 1.04 億円 → H29 目標: 1.1 億円 (実績: 1.0 億円) → H30 目標: 1.1 億円 → H31 目標: 1.1 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修による新規就農者数 (雇用者数含む) : 0 人 ○農業経営事業 (園芸) 売上高 (9 月末) : 9,413 千円 (前年同期比 49.7%) ○米粉等の販売額 (12 月末) : 18,916 千円 (前年同期比 101%) ・ 農業経営事業 (園芸) の打合せ : 8 回 ・ インターンシップ事業実施 : 2 回、8 人参加 ・ 栽培技術向上のための米なすチーム会 : 5 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ生及び研修生の募集、受入 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 嶺北高校との連携、インターンシップ等による農業に意欲のある研修生の確保及び独立自営就農にむけた支援 ・ 栽培技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 野菜栽培管理技術の向上支援 ・ 経営の安定・強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 品目の集約、労働力に応じた栽培計画の作成支援 ・ 米粉製品の生産効率化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 作業機械の導入 (こうち農業確立総合支援事業)
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 (本山町、土佐町、大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐 れいほく 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐あかうしの販売額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績: 1.5 億円 → H29 目標: 2.8 億円 (実績: 2.9 億円) → H30 目標: 2.8 億円 → H31 目標: 3.0 億円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・肉用牛生産組合 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐あかうしの販売額（12月末）：2.31億円 （前年同期比 112%） ・(株)れいほく未来飼養頭数（12月末）：310頭 （繁殖雌牛128頭、肥育115頭、子牛67頭） ・受精卵移植で生まれた子牛の取引 （4月、6月、10月、12月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭 ⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業 （受精卵移植、キャトルステーション飼育）の継続実施 ・飼育担当者及び飼養管理技術の向上 ⇒0JTの徹底（定期的な勉強会の開催） ・堆肥の活用 ⇒堆肥の活用に向けた企業との連携（農商工連携事業）
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○黒牛の販売額 H26実績：34,000千円 → H29目標：50,000千円（実績：53,413千円） → H30目標：50,000千円 → H31目標：54,900千円 ○出荷羽数 H26実績：5.2万羽 → H29目標：8.0万羽（実績：7.6万羽） → H30目標：8.0万羽 → H31目標：12.5万羽 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○黒牛の販売額（10月末）：42,443千円 ○出荷羽数（10月末）：4.3万羽 ・大川村PT産業振興部会の開催：2回 ・大川村の活性化に向けた大川村・高知県連携会議での協議：2回 ・産振総合補助金活用による食鳥処理・加工施設の稼働 ・産振アドバイザーの活用（食鳥処理及び流通の検証、販売戦略の検討等）：2回 ・首都圏での営業人材の雇用（9月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛の増頭 ⇒一貫生産体制における繁殖成績のさらなる向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な食肉処理体制の早期構築 ⇒処理工程の改善と職員の技術向上 ・はちきん地鶏のブランド化 ⇒首都圏等における営業活動の強化 ・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒方田鶏舎の稼働に向けた整備 ・堆肥の活用 ⇒新たな堆肥舎建設と活用方法の検討
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材(株) ・嶺北広域原木安定供給協議会 ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標]</p> <p>○素材生産量 H26 実績:98,515 m³ → H29 目標:120,000 m³ (実績:110,963 m³) → H30 目標:120,000 m³ → H31 目標:130,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>○素材生産量（12月末見込み）:69,337 m³ (前年同期比91%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材増産推進プロジェクトチーム会:1回 ・森林組合支援ワーキング:3回 ・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計12事業体) ・間伐関係補助事業の周知 ・ストックヤード造成工事 (H28.4月着手、進入道完成、造成作業/進捗率は12月末現在で全体の87%) ・原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発 ・嶺北広域原木安定供給協議会:1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐の生産性向上 ⇒森の工場を中心とした事業地の集約化 ・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進 ⇒伐採・再造林の一貫施業の推進、コンテナ苗の普及 ・林業事業体の体質強化 ⇒木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐) ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・原木の安定供給 ⇒嶺北広域原木安定供給協議会の取組 必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整に向けたICT化の推進等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン) ・本山町 ・土佐町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <p>○木材の出荷量:</p> <p>H26実績:744 m³</p> <p>→ H29 目標:1,200 m³ (実績:1,031 m³)</p> <p>→ H30 目標:1,200 m³ → H31 目標:2,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>○木材の出荷量(12月末):549.81 m³ (22棟) (前年同期比63%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かがわ家博出展(8/18,19) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北材の販路拡大 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化 ・香川県を中心とした営業活動の展開 ⇒ウッドフェスティバル等のイベントへの継続した出展
<p>■No.10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者 ・(一財)本山町農業公社 ・土佐町森林組合 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <p>○販売数量</p> <p>H26実績:2,350kg</p> <p>→ H29 実績:2,500kg (実績:336.5kg)</p> <p>→ H30 目標:2,500kg → H31 目標:2,500kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売数量(12月末):138kg (前年同期比41%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の実態把握、生産増加のための訪問:5回 ・本山町農業公社との打合せ:2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社の人員体制の整備 ⇒技術の継承 ・生産量の増加 ⇒栽培放棄地での生産委託の拡充 農業公社等による集出荷の検討 ・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 嶺北地域の特産品販路拡大への支援（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・NPO 法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標]</p> <p>○県外飲食店等との直接取引による販売額</p> <p>H27 実績:0 円</p> <p>→ H29 目標:16,000 千円 (実績:12,819 千円)</p> <p>→ H30 目標:16,000 千円 → H31 目標:85,200 千円</p> <p>○ポータルサイト年間売上高</p> <p>H26 実績:564 千円</p> <p>→ H29 目標:700 千円 (実績:252 千円)</p> <p>→ H30 目標:700 千円 → H31 目標:1,200 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○県外飲食店等との直接取引による販売額（10 月末）</p> <p style="text-align: right;">: 12,950 千円</p> <p>○ポータルサイト売上高（12 月末）: 107 千円</p> <p style="text-align: right;">（前年同期比 55%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受発注管理システムを活用した地産外商の実施 ・直接取引飲食店等: 50 件 ・直接取引関係生産者等: 25 件 ・ホームページへのアクセス数（12 月末）: 2,064 件 <p style="text-align: right;">（前年同期比 60%）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を拠点とした新たな販売モデルの構築 <li style="padding-left: 20px;">⇒地産地消の取組との連携（農産物の量的確保） ・効率的な集荷システムの構築 <li style="padding-left: 20px;">⇒新たな集荷スペースの設置に向けた検討 ・ポータルサイト売上高の増加 <li style="padding-left: 20px;">⇒ポータルサイトのリニューアルの検討 <li style="padding-left: 20px;">⇒通販商品の確保
<p>■No. 12 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会 ・商工会 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標]</p> <p>○調達額（H28～31 累計）</p> <p>H27 実績:0 円 → H29 目標:2,100 千円(実績:1,077 千円)</p> <p>→ H30 目標:5,000 千円 → H31 目標:15,000 千円</p> <p>○嶺北地域のプロジェクト数</p> <p>H27 実績:0 件 → H29 目標:3 件 (実績:1 件)</p> <p>→ H30 目標:3 件 → H31 目標:5 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FAAVO 高知運営体制に係る協議（5/31） ・高知銀行嶺北及び豊永支店との情報共有会議（7/27） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制の変更による今後の運営方法 <li style="padding-left: 20px;">⇒地域での活用を促進する運営方法の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 ぼうむ合同会社による地域資源 (木材・米) 活用の取組 (本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼうむ合同会社 ・ 本山町 <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北地域の林業 クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木工製品全般の売上高 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績:33,000 千円 → H29 目標:79,000 千円 (実績:36,634 千円) → H30 目標:84,000 千円 → H31 目標:89,000 千円 ○焼酎の販売額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績:4,655 千円 → H29 目標:11,700 千円 (実績:5,985 千円) → H30 目標:15,650 千円 → H31 目標:19,590 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木工製品全般の売上高 (11 月末): 19,863 千円 (前年同期比 103%) ○焼酎の販売額 (11 月末): 3,690 千円 (前年同期比 78%) <p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 取引先累計: 173 件 (11 月末) 「販促 Expo」への出展・商談 (7 月) 「かがわ家博」での販促活動 (8 月) 「ジャパンホームショー」への出展・商談 (11 月) ・ 親子学習机づくり等ワークショップの開催 (11 月末) : 10 回・35 組 122 人 ・ 組織マネジメント力向上を目指した研修の受講 (9 月) <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 取引先累計 (11 月末): 236 店舗 販売本数 (11 月末): 2,983 本 ・ ひろめ市場での定期的な試飲販売 (5 月～) ・ シンガポールでの営業 (6 月) ・ 新商品「土佐泡盛 REIHOKU 35% 玄米&白米仕込」の限定販売の開始 (6 月) ・ 輸出を行う卸業者との取引成立、シンガポールへ初出荷 (7 月) ・ シンガポール事務所斡旋による視察への対応 (10 月) ・ 商談会・フェアへの出展: 3 回 (11 月末) ・ イベント出展 (11 月末): 16 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上の増加 ⇒営業活動の強化、海外へのアプローチ、商品開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 (大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○碁石茶関連商品の総販売額 (1~12月) <ul style="list-style-type: none"> H26 実績:0.1 億円 → H29 目標:0.18 億円 (実績:0.28 億円) → H30 目標:0.32 億円 → H31 目標:0.6 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○碁石茶関連商品の総販売額 (1~10月) : 0.19 億円 (前年同期比 83%) ・販促活動 <ul style="list-style-type: none"> 見本市への出展 (5回、延べ12日) (12月末見込み) ・碁石茶製造量 : 約 1.2 t (H29 : 約 1.6 t) ・地域おこし協力隊の導入 (H30.4~新規1名) ・機能性表示申請に向けた関係機関との協議 : 5回 (H30.4~) ・碁石茶審査会 (10月) ・シンガポール事務所斡旋による視察への対応 (10月) ・県版 HACCP 取得に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> 保健所による生産現場訪問 (11月) ・碁石茶製造に係る木桶及び裁断機の導入 (11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規生産者の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒担い手確保や支援体制の構築に向けた検討 ・営業体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ハローワーク等での人材募集
<p>■No. 15 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化 (土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうらこむ ・犬小屋製作工房 K ・土佐地区商工会 <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> [犬小屋製作工房 K] ○注文数 <ul style="list-style-type: none"> H27 実績:500 件 → H29 目標:600 件 (実績:468 件) → H30 目標:600 件 → H31 目標 : 750 件 [さめうらこむ] ○従業者数 <ul style="list-style-type: none"> H27 実績:4 人 → H29 目標:5 人 (実績:5 人) → H30 目標:5 人 → H31 目標:6 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○注文数 (10月末) : 265 件 (前年同期比 86.8%) [犬小屋製作工房 K] ○従業者数 : 5 人 [さめうらこむ] [犬小屋製作工房 K] ・オンライン及び紙面での商品 PR・販売

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの商品 PR・販売 ・シンガポール事務所幹旋による視察への対応 (10月) ・ものづくり総合技術展への出展 (11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場ニーズの変化 ⇒ニーズに応じた新たな商品の開発 <p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の拡大 ⇒新たな商品の開発
<p>■No. 16 嶺北地域で 140 年間続く酒蔵の地産 外商を核とした地域活性化 (土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐酒造(株) 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H28 実績:135,000 千円 → H30 目標:145,000 千円 → H31 目標:160,000 千円 ○地元産原料米調達量 H29 実績:77 t → H30 目標:85 t → H31 目標:95 t ○従業者数 H29 実績:13 人 → H30 目標:14 人 → H31 目標:16 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 (12 月末) : 112,731 千円 (対前年同期比 105%) ○地元産原料米調達量 (12 月末) : 88 t ○従業員数 (12 月末) : 17 人 ・未来戦略本部長の採用 (4月) ・酒米増産に向けた農家の確保 (4月～) ・産振総合補助金の採択申請の準備・申請 (4～6月) ・産振総合補助金審査会 (7月) ・産振総合補助金の採択 (9月)、交付決定 (10月) (総事業費:131,597 千円 補助金申請額:50,000 千円) ・新工場の衛生管理についての保健所との協議 (9月) ・海外等のイベントへの参加 Food and Hotel Asia2018 (シンガポール) への出展 (4/24～27) 四国×酒国 2018 への出展 (5/27) 東京・パリ・マドリッド・台湾・上海での桂月酒の会 の開催 (4月～) ・まるごと高知での試飲会の開催 (7回) ・Kura Master2018 (フランス) プラチナ賞及び金賞受賞 (6月) ・第 3 回 SHIKOKU SAKE TRIP への参加 (9月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・城西館ツアーでの試飲会の開催 (9月) ・シンガポール事務所幹旋による視察への対応 (10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大に伴う商品の生産体制の整備 ⇒新工場の完成と円滑な稼働 ・衛生管理の徹底 ⇒保健所との継続した協議
<p>■No. 17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域観光・交流推進協議会 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共関連宿泊施設での宿泊者数 H26実績:11,461人 → H29目標:16,000人 (実績:15,721人) → H30目標:17,900人 → H31目標:29,000人 ○民泊受入世帯数 H26実績:49世帯 → H29目標:90世帯 (実績:83世帯) → H30目標:105世帯 → H31目標:120世帯 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共関連宿泊施設での宿泊者数 (12月末) : 12,881人 (前年同期比 87%) ○民泊受入世帯数 (12月末) : 85世帯 (前年同期比 101.2%) ・教育旅行の受入 (12月末) : 15件、972人 ・グルメMAP、広域観光パンフレットの配布 (4月～) ・嶺北地域観光・交流推進協議会 : 2回 ・土佐れいほく博開催に向けた協議 幹事会の開催 : 4回 部会 (広報誘客部会、企画受入部会) の開催 : 4回 ・旅行会社等への教育旅行のセールス (12月末) : 3回 (関西、台湾) ・土佐れいほく博公式ホームページ、Instagramの開設、 情報発信 (6月～) ・土佐れいほく博ロゴマーク決定 (6月) ・土佐れいほく博セールスアドバイザーによる視察実施 : 2回 ・土佐の豊穰際の開催 (10月) ・土佐れいほく博広報等委託業務プロポーザル審査委員会 (12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の推進体制の整備 ⇒地域の活動者や行政との連携による研修会の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒農家等民泊受入家庭の確保 ⇒安全管理や体験交流メニュー等民泊の品質向上対策 ・土佐れいほく博の開催に向けた準備 ⇒土佐れいほく博推進協議会の運営支援 ⇒観光資源の発掘、既存プログラムの磨き上げ ⇒地域観光情報の効果的な収集と発信 ・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化 ⇒土佐れいほく博の開催を通じて必要な機能の検討
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 ・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 	<p>[目標]</p> <p>○アウトドア拠点施設の利用者数 H27 実績:0 人 → H29 目標:— → H30 目標:— → H31 目標:50,000 人</p> <p>○白髪山・工石山への観光客数 (H28~31 累計) H24~27 累計:75 人 → H29 目標:10 人 (実績:41 人) → H30 目標:90 人 → H31 目標:200 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○白髪山・工石山への観光客数 (12 月末): 12 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町アウトドアの里づくり推進協議会 (5 月) ・ 地域事業者の育成及び受入体制の充実のためのインストラクターやガイド研修 (12 月末): 14 回 ・ 白髪山登山モニターツアーの開催 (6 月) ・ アウトドアの里拠点施設造成工事の開始 (6 月~) ・ アウトドアの里拠点施設指定管理者の決定 (11 月) ・ アウトドアの里拠点施設建築工事の開始 (11 月) ・ 工石山の樹木への名札取付けに向けた植生調査の実施 (5 月・10 月) ・ 白髪山山頂コースから八反奈路へのルート整備 (10 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトドアの里拠点施設の早期完成 ⇒役場との情報共有及び進捗確認 ・ 嶺北広域での事業展開 ⇒地方創生推進交付金を活用した広域連携事業の実施 ⇒広域観光組織の機能強化 ・ 登山ルートの整備及びガイド育成 ⇒アウトドア拠点施設整備の取組と連動して実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・（一社）大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 	<p>[目標]</p> <p>○白滝の里施設利用者数 H26 実績:6,175 人 → H29 目標:11,470 人（実績:9,977 人） → H30 目標:11,470 人 → H31 目標:15,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○白滝の里施設利用者数（12 月末）：7902 人 （前年同月比：86%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ロングトレイル協会加入（4 月） ・石鎚山系連携事業協議会：2 回 ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催：3 回 ・石鎚山系ルートマップ及びグレーディングを石鎚山系ウェブサイトに掲載、登山アプリでの配信（4 月～） ・人材の育成・確保 地域おこし協力隊の募集（4 月～）：2 名採用 民間企業との業務委託契約締結（4 月） ・白滝の里山歩きツアーの実施（5, 9, 10, 11 月） ：7 回開催、延べ 25 人参加 ・自然を活用した募集型体験ツアー（田舎暮らし体験）の実施（5, 7, 10 月）：3 回、延べ 17 名参加 ・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約（8 月） ・インバウンド関係者村内視察ツアー（10 月）：4 名参加 ・星空&三日月観察会（10 月）：24 名参加 ・白滝の里施設改修基本計画検討委員会の実施（11, 12 月）：2 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規プログラムの開発及び既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 ⇒アドバイザーの助言を活かした周遊ルートの検討 ⇒ダム湖面を活用した体験メニューの開発 ⇒石鎚山系連携事業協議会、（株）ソラヤマいしづちとの連携 ・人材の育成・確保（プロジェクトリーダー等） ⇒地域おこし協力隊の活用、民間企業を活用した専門研修や OJT 研修の実施
<p>■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興（嶺北地域全域）</p>	<p>[目標]</p> <p>○さめうら荘利用者（宿泊・レストラン）数 H26 実績:2 万人 → H29 目標:2.3 万人（実績:2.2 万人） → H30 目標:2.4 万人 → H31 目標:2.5 万人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者（NPO 法人さめうらプロジェクト）等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さめうら荘利用者数（12月末）：9,276人 (前年同期比 43%) ※H30.10月1日～12月24日 リニューアルに向けた準備のため休業 ・イベント参加者数：延べ581名 スポーツフィッシング大会等：24回 (うち合宿受入：12人) ・さめうら荘新メニュー開発に係る講習：3回 ・さめうら荘建設（9月末竣工、12/25プレオープン） ・さめうら荘ダムカレー検討会：2回 ・ワカサギ釣り導入に向けた環境整備（4月～） ⇒プレフィッシング大会の開催（11月） ・浮き桟橋、カヌーレーン等の整備に向けた調整（5月～） ・カヌーのまち嶺北推進協議会総会（6/27） ・合宿誘致に向けた営業活動 ⇒府中湖全中カヌー大会（7月） ⇒ポルトガルカヌーマラソン世界選手権（9月） ⇒長良川長距離世界選手権（11月） ・さめうら湖周辺活用基本計画策定委託業務契約（11月） ・早明浦カヌーアカデミー実施（週2回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して利用者が訪れる取組の構築 ⇒カヌー艇庫等練習環境整備の検討・財源の確保 ⇒湖面・湖畔アクティビティの観光商品化、受入体制の検討 ⇒湖面利用に関する調整 ⇒土佐れいほく博に向けた受入体制の整備
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住者数(H28～31 累計) H24～26 累計:214人 → H29 目標:80人 (実績:82人 (66件)) → H30 目標:80人 → H31 目標:280人 (H28～31 累計) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住者数（12月末）：47人（31件） (前年同期比：60%) ・移住促進連絡会の開催：9回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談受付件数：356 件 ・空き家調査件数：31 件 ・お山のでづくり市の開催：3 回 ・県外の移住相談会への参加：9 回（大阪・東京） ・土佐町 Web サイト「とさちょうものがたり」による地域情報の発信 ・新規単身用町営住宅の入居者募集（H30.6 満室） ・れいほく田舎暮らしネットワークによる不動産の賃貸に向けた準備：1 件 ・チャレンジショップの募集（2 月中旬選考会） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒空き家改修補助金の活用促進 ・移住相談等増加への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒勉強会の開催や、CCRC、教育魅力化、起業支援（チャレンジショップ等）など、新たな人の流れの構築 ・大川村における移住支援体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集落活動センター結いの里の機能拡充
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組（大豊町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標]</p> <p>○スギ苗木生産本数</p> <p>H27 実績：1,920 本</p> <p>→ H29 目標：2 万本（実績：0 本（枯損）※）</p> <p>→ H30 目標：4 万本 → H31 目標：4 万本</p> <p>※H29 出荷本数：12,500 本（H27、28 年度播種）</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナへの移植（播種：2 月）：3.0 万本（5 月） ・育苗ハウス整備（2 棟目）（5 月） ・播種（8 月）及びコンテナへの移植（9 月）：1.0 万本 ・森林技術センターによる現地確認及び指導（9 月） ・かん水作業の効率化（スプリンクラー改良）（9 月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討 ⇒新たな労働力の確保 ・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 <ul style="list-style-type: none"> ⇒勉強会等の開催による技術向上 ⇒温度センサー等管理システムの設置の検討 ・継続的な販売先の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒森林組合等事業者との協議の継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組 (土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしはらの里協議会 ・合同会社いしはらの里 ・土佐町 ・民間事業者((株)FPI)等 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊者数(延べ) H28実績:0人 → H30目標:100人 → H31目標:500人 ○林業研修者(H28~31累計) H27実績:0人 → H29目標33人(実績:55人) → H30目標:60人 → H31目標:60人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊者(木の家)(11月末):18人 ○林業研修者(11月末):5人 <p>[交流人口の拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしはらの里協議会総会での事業説明(4月) ・合同会社いしはらの里総会での事業説明(5月) ・中山間地域対策課アドバイザーとの協議(6月) ・産振アドバイザーの派遣(7月) ・城西館との連携による大手旅行会社ツアー受入れ(3回)、ツアーにおける土佐酒蔵試飲会(1回) ・中山間地域対策課アドバイザーの派遣(8月) ・基幹ビジネス確立支援事業を活用した施設改修に向けた事業計画の策定(9月) ・基幹ビジネス確立支援事業交付申請・交付決定(10月) (総事業費19,991千円 補助金申請額9,995千円) ・いしはら未来会議の開催(3回) ・先進事例視察(11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[交流人口の拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制確立に向けた検討 ⇒世代を超えた関係者(地域住民等)の連携 ⇒宿泊客確保に向けた情報発信 ⇒体験メニュー及び土産物等の開発 <p>[森の教習所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業研修者の確保 ⇒民間事業者が主催する林業インターンシップ事業との連携 ⇒民間事業者(FPI)、移住支援団体等との連携による広報の強化、Facebook等による情報発信

2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No. 16 嶺北地域で 140 年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化（土佐町）	地元産の酒米にこだわった特長ある日本酒を安定供給し、国内外への販路を拡大するために、新工場（酒蔵）及び原料米の貯蔵・処理施設を整備。	131,597 千円 (50,000 千円)

3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町森林組合理事会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/16）
- ・土佐町地区長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/20）
- ・土佐れいほく農協理事会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/24）
- ・大川村部落長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/25）
- ・大豊町区長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/26）
- ・大豊町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/23）
- ・本山町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/24）
- ・土佐町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/25）

4 相談案件： 4 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	農商工	県外出資法人による畜産事業への参入について
2	4/25	農業	果実酒の原料生産について
3	5/8	農業	6 次産業化による加工品の開発
4	6/7	産業	再生可能エネルギーに関して